香美町

社協だより

第134号

平成28年５月26日発行

編集・発行　社会福祉法人 香美町社会福祉協議会
〒669-6545 香美町香住区森31-1 香美町香住地域福祉センター内
TEL 0796-39-2050 TEL 0796-36-2758 FAX 0796-39-2150
ホームページアドレス　http://www.kami-shakyo.org/

とどけます みんなの元気　しおかぜ日和（香住区）

『しおかぜ日和』は、手作り雑貨・アクセサリーなどを発表、販売するイベントです。４年前、香美町内の子育て中のお母さんたち４人が集まり、「香美町をもっと元気いっぱいにしたい」との思いからはじめられました。

５回目となった今回は、５月３日、４日に岡見公園岡見亭周辺で開催されました。

世話役の三浦由紀子さんは、「地域とのつながりが徐々に見えてきて、続けてよかったと思います。これからも人と人との出会いや繋がりを大切にしながら無理なく、長く続けていきたいです」と話されました。

今月の主な内容

平成28年度 社協会費のお願い……2～3
福祉情報コーナー
　障害者差別解消法とは？……4～5
香住手話サークル……6
無料給食サービス事業……6
けいじばん……7
村岡福祉まつりのご案内……8

この広報誌は共同募金配分金の一部を活用し作成しています。

平成28年度 社協会費のお願い

わがまちの社協

「住み慣れた地域で安心して暮らしたい」という願いは、誰もが持っている共通した願いではないでしょうか。

香美町社協は、この願いを実現していくために、様々な福祉サービスをおこなっています。

介護保険サービスや障害福祉サービスなど制度に沿った在宅生活を支援するサービスの提供。また、高齢者の健康増進を目的とした元気デイサービス

ふれあい交流館、いこいの里事業、外出支援サービス、配食サービスなど受託事業

（主な財源：補助金、負担金、善意銀行預託金、共同募金配分金、賛助会費）

▲元気デイ　血圧測定

福祉活動を推進する社協の特徴

社協は、民間組織としての「自主性」と、広く住民の皆様や社会福祉の関係者、法人・団体の皆様に支えられた「公共性」という2つの側面をあわせ持っています。

その人に、その集落にあった福祉活動をするには、住民の皆様のご理解とご協力がなければ成り立ちません。

公共性の高い団体である社協の地域福祉活動等の運営費は、住民皆様の会費に支えられ、成り立っています。

目指すところ

近年、制度だけでは解決することができない様々な困りごとが増えてきています。

香美町は、県下で高齢化率が高く、かつ少子・過疎化が進んでおり、担い手不足や住民同士のつながりの希薄化が問題となっています。その他子どもの貧困問題、生活困窮者問題など多種多様な福祉ニーズが見えてきています。

そのニーズをキャッチし、迅速に応えるためには、きめ細やかな活動が必要となります。緊急性や危険性によっては、専門職が関わります。また、一人のニーズを集落のニーズとして捉え、住民同士のたすけあいによって満たされる福祉もあります。

福祉は特別な人びとのためのものではなく、すべての住民にかかわるものです。

▲集落福祉活動研修会（村岡区）

香美町社協は、基本理念である「ささえあい　安心して　暮らせるまちづくり」を実現に向けて、福祉活動の推進を図ります。

◇一般会費のお願い

香美町社協では、多くの住民の皆様のご支援とご協力のもと、「ささえあい　安心して暮らせる　まちづくり」を基本理念として事業を展開しています。

毎年6月には、住民の皆様に一世帯あたり2，200円のご協力をお願いさせていただいております。

この貴重な財源は、各種事業を推進していく香美町社協の本所、各支所の基礎的な運営財源（事務費等）として有効に活用させていただきます（沿岸部、山間部それぞれ異なる地域の特性にも、きめ細やかな対応ができるように、事務所を小代区、村岡区、香住区に3ヶ所設置運営）。

※本所・支所運営費の主な内訳
・コピー機、活動車両、パソコンなどのリース費用
・電話、切手など通信運搬費
・コピー用紙など消耗品費
・光熱水費など

皆様方のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

平成27年度は、香美町内5，672世帯の皆様に12，478，400円のご協力をいただきました。

誠にありがとうございました。

▲いきいきサロン（香住区）

◇賛助会員の募集　一口1，000円～

昨年度は、251件の事業所・個人の皆様から984，000円のご協力をいただき、香美町の福祉事業費やボランティア活動事業費として活用させていただきました（いきいきサロン、福祉・防災マップの作成、マップを活用した集落福祉活動の推進、福祉学習、防災体験学習、屋根の雪おろし一部助成事業など広く地域福祉事業）。

心より厚くお礼申し上げます。

本年度も賛助会員として本会の目的に賛同し、ご協力いただける個人、法人、事業所及び団体を募集します（8月に郵便振込用紙付きチラシをお届けします）。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

※賛助会費は、福祉事業への寄附金として確定申告で控除の対象になります。本所、村岡・小代の各支所窓口で、証明書付き領収書を発行します（郵便振込みの方には後日郵送いたします）。

▲福祉学習　手話教室（小代小学校）

社会福祉協議会は…

社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に基づき、各都道府県・市町村に設置されています。

住民の皆様、法人・団体の皆様のご参加・ご協力をいただき、地域福祉の推進を図ることを目的とした民間の福祉団体です。

福祉情報コーナー

障害者差別解消法とは？

私たちの町にはいろいろな方が生活しています。障害のある人もない人も、大人も子どもも、男性も女性も、外国の方もいます。みんな違いはありますが、同じように学んだり、働いたり、暮らす権利を持っています。私たちの周りではどのようなことが当てはまり、自分たちにできることは何があるか、考えてみませんか？

◆この法律の目的は？

障害のあるなしに関係なく、誰もがお互いの個性と人格を尊重し、ささえあう社会をつくるためです。

行政機関、民間事業者が「障害を理由とする不当な差別をしないこと」と決めた法律で、今年の4月1日から施行されています。

◆対象となる障害者って？

障害者基本法に定めているすべての障害のある人です。

身体障害、知的障害、精神障害、発達障害、その他心身機能の障害がある人など、障害や社会的障壁によって日常生活や社会生活が、継続的に困難になっている人です。障害者手帳を持っていない人も含みます。

◆障害を理由に差別してはいけません！

正当な理由もなく、障害があるということでサービスなどの提供を拒否したり、制限したり、障害のない人にはない条件をつけたりすることが、障害を理由とした不当な差別になります。

また障害のある人から、何らかの配慮を求める意思表明があるのに、社会的障壁を取り除くための、配慮をしないこともこれに当てはまります。

社協は、障害のある人から、配慮を求める意思表明がなくても、心配り、気配りができる事業所を目指します。

◆これは差別です！

1．車いすでレストランや飲食店に入ろうとしたら、断られた。

2．災害時の緊急案内が音声でしか提供されなかったので、どうすればよいかわからなかった。

3．会議などで、わかりやすく説明してくれる人の配置をお願いしたが、用意してもらえなかった。

◆自分のできることを考えてみましょう！

車いすでしか移動できないのに、段差があって行けない。

難しい文章や漢字ばかりで、内容が理解できない。

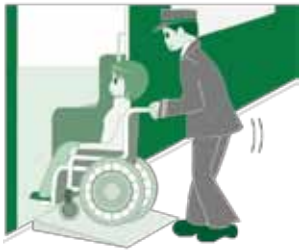
チラシや案内、通知文など受け取ったが、目が見えないので、書いていることがわからない。

◆ちょっとした手助けは！

1．耳が聞こえない人には、文字を書くなど音声以外の方法で情報を伝える。

2．目が見えない人には、文章を読み上げながら説明する。理解が難しい人には、分かり易く説明する。

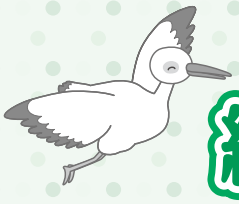
3．交通機関などで、車いすを使っている方が段差をこえられない時、駅員や係員が乗車を手助けする。



普段、私たちが何気なくしていることでも、障害のある人にとっては、日常生活や社会生活上で、理解しづらいことやできないことがあります。

でも、ほんの少しの手助けがあれば、生活しやすくなります。

障害を持たれた方にだけではなく、みなさんが日頃からされているちょっとした「優しさ」それが当てはまるのではないでしょうか。



但馬地域こうのとり大使による
縁結び交流会参加者募集!!

～夏は恋の季節 但馬で♥熱い恋を探してみませんか？～

日　　時：平成28年 **7月17日(日)** 11：00～15：30

場　　所：県立但馬長寿の郷（養父市八鹿町）

参加対象：県内に在住又は在勤の独身男女
（男性は40歳以上の但馬在住又は在勤者、女性は年齢フリー）※年齢は開催日現在の満年齢

内　　容：１対１のトーク、ランチタイム　等

参 加 費：男性2,000円　女性1,500円

募集定員：男女各15名（定員に達した場合には抽選）

申込締切：**6月28日(火)**

申込方法（どちらか）：①申込用紙（但馬青少年本部ＨＰからダウンロード可能）をＦＡＸ又は郵送で申し込む
②E-mail で住所・氏名（ふりがな）・年齢・性別・電話番号・勤務先・勤務先市町名を記載して申し込む。

問合せ・申込先：但馬出会いサポートセンター 〒667-0044 養父市八鹿町国木594-10
TEL 079-662-7701 FAX 079-662-7703（開館日時：水・木・土 9:00～17:15）
E-mail：tajima_habatan@seishonen.or.jp

ボランティア情報コーナー

がんばれ!!ボランティア

香住手話サークル

昭和63年10月に社会福祉協議会が開催した手話教室の受講生が中心となり、香住手話サークルは誕生しました。毎月の定例的な勉強会や手話教室の実施、香住ふれあいコンサートでは歌詞に合わせて手話通訳をするなど、長年にわたって活動されてきました。

現在は、香住区内の小・中学校の福祉体験学習のサポートが主な活動になっています。

平成27年度は、香住区内の小学校3校と中学校1校で、子ども達に手話を体験してもらいました。

代表の加藤晃一さんは「小・中学校での手話体験は、子ども達が耳の不自由な方の事を考えるきっかけになればと思い、続けています。まずは、いろんな人が暮らしていることを知ることが大切だと思います」と想いを語ってくれました。

▲指文字を習って、自分の名前を表現しました。

今後は、定例的な勉強会を行いながら、一人でも多くの方が手話を通じて、耳の不自由な方の暮らしに関心を持ってもらえるように続けていくそうです。

香住手話サークルでは会員を募集しています。楽しみながら手話を勉強しましょう!

【お問合わせ先】
香美町社会福祉協議会　本所
☎0796-39-2050

香住区 ひとり暮らし高齢者へ 無料給食サービス

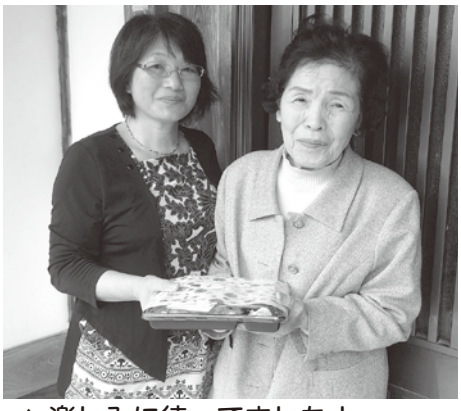
4月12日（火）香住区民生委員児童委員女性部会による、ひとり暮らし高齢者の方への無料給食サービスが実施されました。

年に2回、20年以上続けられているこの事業は、バランスのとれた食事をとってもらうことと、安否確認を目的とされています。

手紙を添えて作られたお弁当は、男性民生委員、民生協力委員も加わり、多くの方の協力を得て、約160名の方に手渡しで届けられました。

▲バランスの良い、香住の味を届けます。

お弁当を受け取られた方は「届けに来てくれて、嬉しいです」「声をかけてもらえると、ほっとします」と、笑顔で話されていました。



▲楽しみに待ってました！

代表の濱上章子さんは「普段から、旬の食材や地元の食材を使った料理について考えています。みなさんに、懐かしい味！真似したい！と思われるようなお弁当を作っていきたいです。一人ひとりの顔を見てお弁当を渡すことで、会話もでき、日頃の様子も分かります。人とのつながりを感じていただけるようこれからも続けていきたいです」と想いを語られました。

社協のけいじばん

各種相談は町内どこでも受けられます。本所、各支所にお気軽にご相談ください。
※秘密は厳守します。
※相談はいずれも無料です。

～総合相談所のごあんない～

お問い合わせ先	本　所 TEL 0796-39-2050	村岡支所 TEL 0796-98-1000	小代支所 TEL 0796-97-2202
心配ごと相談	とき：6月8日(水) 13：30～16：00 ところ：香住老人福祉センター	とき：6月15日(水) 13：30～16：00 ところ：村岡老人福祉センター	とき：6月1日(水) 13：30～16：00 ところ：いこいの里
ほっと　HOT （結婚相談）	とき：6月9日(木) 13：30～16：00 ところ：香住老人福祉センター	とき：6月26日(日) 9：30～12：00 ところ：村岡区中央公民館	とき：6月16日(木) 13：30～16：00 ところ：いこいの里
弁護士相談 ※要予約（1人30分）		とき：6月24日(金) 13：00～16：00 ところ：村岡老人福祉センター 担当者：辻本武之弁護士	

善意銀行だより

（平成28年4月1日～30日）
（預託順・敬称略）

本　所

・香典返し
無南垣　吉田　邦彦
七日市　石田　秀昭
香住　中村　通孝
間室　上田　美明
訓谷　島田　逸子
竹野町　川西　敦彦
七日市　毛戸　平晃
香住　土井　勝
・快気祝
香住　中村　隆三
・物品預託
大野　西川美智子（洗濯洗剤）

村岡支所

・香典返し
味取　岡本　光明
和田　澤村　雅裕
森脇　森　清貴
入江　片山美和子

小代支所

・香典返し
石寺　井口　薫
・物品預託
石寺　木村　幸子（介護用品）

預託金合計
370,016円

○お名前は、預託者本人のご意向により掲載しています。

皆様からのあたたかいご預託は社協の地域福祉活動に使わせていただきます。ありがとうございました。

収集ボランティア

（平成28年4月1日～30日）

古切手等の収集にご協力いただいた皆様をご紹介します。
（預託順・敬称略）

古切手・ベルマーク・はがき・テレホンカード

〔本　所〕
七日市　ウエケイ㈱
若松　兵庫県信用漁業協同組合
香住　毛戸工業㈱
香住　㈱片岡会計
訓谷　綿本　幸一
香住　香住ロータリークラブ
香住　橘法務行政書士事務所
香住　ねんりん香住

〔村岡支所〕
日影　西村　計一
長板　藤村　要子
和田　田中　大輔
村岡　むらおかこぶし園
大野　大林　和子
長板　宮脇　美行

〔小代支所〕
広井　井上　倫和
秋岡　本城　繁信
鍛治屋　水間しげ子
城山　小代診療所
神水　こぶし園
城山　中村　ミツ

その他にも、匿名で多くの方にご協力頂きました。ありがとうございました。

ストップ・ザ・無縁社会 全県キャンペーン　絆つなげる 明日へつながる

村岡福祉まつり

テーマ：みんなでつくろう福祉の輪

ふれあいひろば　12：00～13：30

◆手話、点字体験　◆健康チェック　◆防災に関するパネル 他
◆フリーマーケット　◆炊き込みご飯、栃もち販売
◆コーヒーコーナー　◆わたがし、ポップコーン販売

◆各種団体バザー
- ひまわりの森村岡ブランチ　・子育て応援隊ムラオカ
- 村岡婦人共励会　・丸味げんき村　・のぎく作業所

こどもひろば　12：00～15：30

◆お兄さん・お姉さんと遊ぼう～！
バルーンアートやゲームコーナーなど

ふれあいステージ　13：30～15：30

◆村岡高等学校による南中ソーラン節演舞

シンガーソングライター **小西達也コンサート**
「心が教えてくれること」

～オリジナル曲からお馴染みの曲まで！
聴いて歌って心地よい時間と心もあたたかく！～

とき　6月19日（日）
12：00～15：30

ところ　村岡老人福祉センター

●駐車場はリハビリセンター横、または村岡地域局駐車場をご利用ください！
村岡区内はマイクロバスを運行します。

講演後、お花のプレゼント

主催：村岡福祉まつり実行委員会